

令和元年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 星槎道都大学 実施報告書



**実施主体** 社会福祉学部2年生

**実施内容** 夏季集中授業で児童虐待防止の掲示物・ポスター作成

南幌町の地域イベントと北広島市主催の児童虐待防止講演会  
に上記作成物を掲示し、市民へソーシャルアクション

### ①事前に取り組んだ内容

児童虐待について、『定義』、『現状』、『類型』、『被虐待児の臨床像』の4項目、オレンジリボン活動について、『オレンジリボン運動とは』、『オレンジリボン憲章』、『自治体や企業活動』、『学生が活動を行う意義』の4項目の合計8項目について講義で実施。その後、模造紙に上記内容などをまとめ、児童虐待防止のためのポスターも作成した。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

9月17日～20日、夏季集中授業では学生がマスコットを付けた手作りのオレンジリボンを作成。6つのグループに分け、『児童虐待』、『オレンジリボン活動の起源』、『学生のオレンジリボン運動』、『児童虐待の統計』、『被虐待児の臨床像』、『学生の手作りオレンジリボンを付けた掲示物を作成』、同時に児童虐待防止ポスターも作成し、発表を行った。

上記の掲示物とポスターを持参し、10月28日は南幌町の地域のイベント、11月19日には、北広島市で開催された児童虐待防止講演会に学生と教員が参加し、会場準備・後片付け、作成した掲示物を展示し、町民・市民へソーシャルアクションを行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて・・・

今年でこの活動も6年目となった。

将来、ソーシャルワーカー・保育士・教員として、また親として児童と関わるであろう大学生がオレンジリボン運動の活動通し、専門職・一人の大人としての気づきと学び、また地域住民へのソーシャルアクション能力形成に役に立っている。また、前年度活動した学生達が作成した掲示物を学内に常時掲示していることで、下級生が早期段階から興味関心を抱き、児童虐待防止に関する早期の理解促進にもつながっている。すべての活動はグループで行っていることから凝集性向上にも役に立っている。



作成物の発表(9月20日)



市民が掲示物を見学(11月19日)



児童虐待防止講演会に参加し、集合写真撮影(11月19日)

【星槎道都大学】 <https://www.seisadohto.ac.jp/>